

## 第15回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会議事録

- |        |                                                                                       |             |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1. 日時  | 平成31年2月19日(火)                                                                         | 18:30~19:40 |
| 2. 会場  | エコーセンター2000                                                                           | 3階 視聴覚室     |
| 3. 出席者 | 吉田委員(座長)、後藤委員(副座長)、菊地委員、大槻委員、<br>成瀬委員、原本委員、乾委員、真鍋委員、小澤委員、<br>中山委員、深川委員、明神委員、長井委員、平出委員 |             |

### (秋葉課長)

ただ今より「第15回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会」を開催いたします。開催にあたり、網走市企画総務部の岩永部長よりご挨拶申し上げます。

### (岩永部長)

網走市企画総務部長の岩永と申します。

本来であれば、水谷市長がご挨拶をさせていただくところでございますが、本日別の用務のため出席がかないませんので、代わりに私から一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

本日は大変お忙しい中、そして足元の悪い中、網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様には日ごろからそれぞれのお立場から地域振興にご尽力をいただいておりますことに厚くお礼を申し上げたいと思います。

定住自立圏構想につきましては、安心して暮らせる地域を形成し、定住のための暮らしに必要なさまざまな機能をフルセットで確保していくという考えから、地域の持続的な発展に大きく寄与するものでございます。

大空町と網走市は平成23年度に「定住自立圏形成協定」を締結し、同年に「網走市大空町定住自立圏共生ビジョン」を策定し、現在7年目を迎えております。この共生ビジョンは、圏域の将来像や、両市町が連携・協力する具体的な取り組みを定めるなど、行政運営の指針にもなっておりますことから、委員の皆様からのご意見などを伺いながら協議を進めてきたところでございます。

委員皆様の忌憚のないご意見を頂戴できればと考えておりますので、今後ともなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

### (秋葉課長)

続きまして、異動等により、新たに委員になられた方をご紹介します。東京農業大学生物産業学部学部長の吉田穂積委員でございます。網走市観光協会会長 小澤友基隆委員でございます。

事務局職員にも異動がございましたので、紹介させていただきます。網走市企画調整課企画係の佐々木係長です。大空町総務課の阿部主査です。

続きまして、次第の3「座長・副座長の選出」に入らせていただきます。座長選出までの間、網走市の岩永部長が仮議長として議事を進行させていただきます。

**(岩永部長)**

それでは座長選出までの間、私が議事を進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

はじめに、座長の選出につきまして、お諮りをいたします。懇談会設置要綱第5条の規定により、座長は委員の互選にて定めることとなっております。どのように執り進めればよろしいかご意見をお伺いしたいと思います。

<「事務局一任」という声あり>

**(岩永部長)**

ただ今「事務局一任」という意見を出していただきました。よろしいでしょうか。

**(委員一同)**

はい。

**(岩永部長)**

それでは事務局から提案をお願いいたします。

**(秋葉課長)**

事務局より提案をさせていただきます。座長に東京農業大学の吉田委員を推薦させていただきます。

**(岩永部長)**

ただ今事務局から吉田委員を座長にとの提案がございましたが、いかがでしょうか。

**(委員一同)**

異議なし。

**(岩永部長)**

異議がございませんので、座長は吉田委員にお願いをしたいと思います。吉田委員は座長席に移動をお願いいたします。

<吉田委員座席移動>

(秋葉課長)

それでは、吉田座長に一言ご挨拶をいただきたいと存じます。

(吉田座長)

ただ今座長に選出されました東京農業大学の吉田と申します。

初めての座長で不慣れですが、議事運営にぜひご協力をお願いいたします。恐縮ですが、議事は座ったままで進行させていただきたいと思えます。

(秋葉課長)

ありがとうございます。この後の進行は吉田座長をお願いいたします。

(吉田座長)

それでは、議事を進めさせていただきます。まず副座長の選出ですが、懇談会設置要領第5条の規定により、座長が指名することになっておりますので、私から指名させていただきます。副座長は、網走市社会福祉協議会の後藤委員をお願いしたいと存じます。よろしいでしょうか。

(委員一同)

はい。

(吉田座長)

それでは、副座長は後藤委員をお願いをしたいと思います。後藤委員は席の移動をお願いいたします。

<後藤委員座席移動>

(吉田座長)

後藤副座長に一言ご挨拶をいただきたいと存じます。

(後藤副座長)

網走市社会福祉協議会で事務局長をしております後藤と申します。副座長にご指名がありましたので、どうぞよろしくをお願いいたします。

(吉田座長)

それでは、次第の4「議事」に入ります。(1)「第2次網走市大空町定住自立圏共生ビジョンの一部変更」と(2)「成果指標の進捗」について、一括して事務局から説明をお願いします。

(秋葉課長)

はじめに、定住自立圏構想と共生ビジョンの趣旨について、簡単に説明させていただきます。お手元に配付しております「共生ビジョン」1ページをご覧

ください。上段に記載がありますが、定住自立圏構想とは、住民の生活環境が密接に関係している地域を一つの圏域としてとらえ、定住のために必要な生活機能を圏域、総体として確保しようとするものです。本制度の財政的メリットといたしましては、国の特別交付税措置や補助事業の採択において優遇措置がございます。

次に、2ページをご覧ください。下から3行目をご覧ください。共生ビジョンとは、圏域の将来像や具体的な取り組みを定めたものでございます。まず、将来像は、圏域住民がゆとりと潤いを実感し、安心して、子育てができる環境を整え、子供や若者が夢と誇りを持ってこの地域に住み続けたいと思えるような魅力と活気に満ちた圏域の構築を目指すものです。

次に、共生ビジョンの一部変更ですが、6～7ページをご覧ください。変更箇所は、赤字で記載しております。平成27年に実施された「国勢調査」の結果が公表されておりますので、人口、世帯数、年齢別人口、産業別・就業人口の推移について、数値を更新しております。

次に、8ページをご覧ください。平成28年に実施された「経済センサス」の結果が公表されておりますので、事業所数、従業者数の推移について、数値を更新しております。

次に、10～11ページをご覧ください。同じく、商店数、従業員数、年間商品販売額の推移、農家戸数、農業就業人口、経営耕地総面積の推移について、数値を更新しております。

次に、12～13ページをご覧ください。漁業量、漁業生産額の推移、観光入込客総数、宿泊客延数、女満別空港利用者数の推移について、数値を更新しております。共生ビジョンの一部変更は、以上でございます。

#### (佐々木係長)

引き続き、「共生ビジョンに係る成果指標の進捗状況」について説明いたします。別紙1のA4横の資料「成果指標の進捗状況について」をご覧ください。

はじめに、救急医療体制の確保です。救急医療体制の対応日数は、基準値の平成27年で365日、平成29年の実績値も同じく365日でございます。参考値として記載をしております平成30年においても日数は変わっておりません。

その下、休日救急体制の対応日数につきましても、72日で日数は変わってございません。参考値として記載しております平成30年については、73日となっております。

次に、2ページの産科医療機関数でございます。平成29年度の実績値は2施設、網走厚生病院と金川医院でございますが、これも数値が変わってございません。

小児科医療機関数につきましても、4施設で数値は変わってございません。内訳は網走厚生病院、青沼医院、中山医院、角谷こどもクリニックでございます。

次に、3ページをご覧ください。女満別空港利用者数でございます。平成29年の実績値は83万4,000人で、前年度を上回っておりますが、目標値である年間100万人には届いていない状況でございます。引き続き、国際チャーター便など、インバウンドの誘客やプロモーション活動を継続的に行っていく必要がございます。

次に、住民対象講座の受講者数ですが、平成29年度は3,827人でした。基準値である平成27年の数値を上回り、また、目標値である3,680人を上回っております。

次に、4ページをご覧ください。藻琴川環境保全対策連絡協議会の取り組みへの参加でございますが、基準値である平成27年と同じく1件となっております。

同様に、網走湖環境保全対策推進協議会の取り組みへの参加でございますが、こちらも前年と同じ1件となっております。

次に、5ページをご覧ください。下水道終末処理施設でございますが、前年度と同様、また目標値と同様の1施設となっております。

その下、し尿処理施設につきましても同様に1件であり、前年度、また目標値と同じとなっております。

次に、6ページをご覧ください。網走市、大空町合同の防災訓練の実施についてですが、基準値が0回、目標値が1回ですが、平成30年度は0回で実施できておりません。担当レベルでの情報交換を行ったということですが、引き続き実施に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

次に、7ページをご覧ください。子育て支援センターの利用率でございますが、この数値は、網走市にあります子育て支援センターの全利用者数に対して大空町の利用者が何名いるかという数字です。平成29年度は大空町の利用者が0名でしたので、実績値は0%です。目標値が5%ですので、引き続き、利用していただくための努力が必要となっております。

その下、認知症サポーター養成人数ですが、前年度の2,948名から平成29年度は3,508名となっております。目標値2,800名を超えている状況ではございますが、引き続き、養成人数を増やす努力が必要となっております。

次に、8ページをご覧ください。事業所の従業員数でございますが、人口の減少が続いている中、平成29年度は1万9,052名となりました。この目標値は、平成27年度の基準値を維持するというものでございますが、従業員数が減っているという傾向が見られますので、引き続き、女性の就労機会や高齢者の雇用機会の創出に取り組む必要がございます。

その下、網走湖の漁獲量、これは3ヶ年平均でございますが、基準値が880t、平成29年の実績値は926tとなりました。参考までに平成30年度は、本年1月末時点で901tと、目標値である900tを上回っております。

次に、9ページをご覧ください。バス路線でございます。バス路線につきましては、7路線を維持するという目標でございまして、数値は変わっておりません。路線の内訳は、小清水線、美幌線、常呂線、サロマ湖栄浦線、東藻琴線、

女満別線でございます。

その下、お試し暮らしの体験数、これは5ヶ年平均でございますが、基準値は1年当たり9件、平成29年度の実績値も9件、平成30年の参考値は8件となっております。目標値が年間15件でございますので、引き続き移住へ向けた取り組みが必要となっております。

次に、10ページをご覧ください。スポーツ合宿参加人数でございます。平成29年度は前年を上回り、2,675名の方に合宿に来ていただきました。目標値である2,000名を超える数字で推移しております。

次に、11ページをご覧ください。大学等との連携事業数でございます。基準値が4件、平成29年度の実績値が7件となっております。6次産業化プロデューサーの育成事業や生涯活躍のまち構築推進事業、それから、長いもの高付加価値化など、記載の事業に取り組んでおります。

最後に、合同研修の実施回数ですが、平成29年度は年1回となっております。この研修は、数回にわたって開催される研修でして、その一連の研修をもって1回ととらえております。説明は以上でございます。

#### (吉田座長)

ただ今、事務局より共生ビジョンの変更と成果指標の進捗状況について説明がありましたが、委員の皆様からご意見等を頂戴したいと思います。内容に関する質問等でも結構でございますので、よろしくお願いたします。いかがでしょうか。

#### (乾委員)

子育て支援センター利用率の仕組みについて教えてください。

#### (秋葉課長)

子育て支援センターは「どんぐり」と「ひまわり」の2施設です。センターの利用率は全登録者数に対する大空町民の登録者数の割合です。平成29年度は全体で308名だが、大空町民の方はいませんでした。平成30年度は参考値ですが、全体で417名、大空町民の方は10名いらっしゃいました。転勤族の方々が集まって色々と話ができ、非常にありがたいとお聞きしています。利用を呼び掛けて人数を増やしていきたいと考えています。

#### (中山委員)

女満別空港の利用者数について、チャーター便や海外の方の利用率を数字として載せることは難しいのでしょうか。

#### (林参事)

チャーター便については別に数字を載せることはできますが、客層等の細かい数値は把握していません。

**(中山委員)**

少しでもそういった数値を調べてアピールしていけたら良いと思います。

**(小澤委員)**

そもそも何を根拠に目標値を設定しているのでしょうか。また、目標値を達成するとそれぞれの市民・町民の生活にどのようなにはね返ってくるのでしょうか。

**(秋葉課長)**

バス路線については、今の路線を維持したいと考えています。女満別空港の利用については、大きな目標を掲げてそこに向かっていくという考え方です。バス路線については、どんな利用が地域にとって最適かということを考えなければならぬ時期に来ています。網走市の取組みを紹介させていただきますと、新年度からはそれぞれの地域が最適な交通網をどうやって作ったら良いのかということで、関係者の方々にお集まりいただき、地域公共交通網形成計画を作るという動きがあります。

**(成瀬委員)**

「大学等との連携事業数」がどのように人材育成に繋がっていくのか教えてください。

**(秋葉課長)**

一例を紹介させていただきますと、「6次産業化プロデューサー育成事業」は、大学でものづくりを学びたいという方を対象にし、東京農大で募集をし、授業を受けていただくというものであり、商品開発について農大の先生からアドバイスを受け、商品販売に繋げていく事業です。これについては、網走市民についても大空町民についても参加することができます。

**(中山委員)**

商品開発等の協力は農大のどこに連絡したら良いのでしょうか。

**(吉田座長)**

大学に資源開発研究所という組織があります。ここにご相談いただければ、ご相談内容に応じて担当する先生にお繋ぎすることもできます。

**(長井委員)**

「網走市、大空町合同の防災訓練実施」について、どうして取組みが進まないのでしょうか。

**(秋葉課長)**

担当者同士で会って検討はしていますが、もう一步が踏み込めない状況です。最終年度ですので、必ずやるように防災部署には伝えております。

**(原本委員)**

「お試し暮らし体験数」は9件ですが、実際に移住した方はいらっしゃいますか。

**(秋葉課長)**

就職を機に網走に住む方もいますし、大学生が残って網走で就職する場合があります。ここの数値は、夏場にこちらで長期滞在をして、冬になると本州に戻る方の数です。移住地を決めないで二カ所で居住をする方です。実態を把握できていないのが現状です。

**(深川委員)**

長年この会議に出席させていただいておりますが、なかなか形が見えてこないというか、結果がついてこないですね。大きく連携していく必要があると思いますが、いかがでしょうか。

**(秋葉課長)**

網走市としては、釧路市・帯広市と協力をして、非常に大きなエリアで物事を捉えて売っていかうと取り組んでいるところです。女満別空港も含めた道内7空港の一括民間委託もあり、今年の夏ごろには事業者の選定も終わると聞いていますので、ここを一つの契機としまして、より一層広範囲で売っていかうという考え方が必要だと考えています。

**(小澤委員)**

網走は知名度は高いですが、来たいと思える街ではないのが現状ですね。素晴らしい素材はたくさんあるけれども、認知していただけていない。観光に携わる団体はいくつもあるが、その連携が全くとれていない。言葉は悪いが勝手にやっている。単発で終わってしまっている。一番の問題はその旗振り役を誰がやるのかということですね。今、観光協会が中心となってまとめていかうとしています。

**(中山委員)**

連携していないという言い方はちょっと違うと思います。実際は、美幌町や津別町と連携はしているんですね。課題はたくさんありますが、連携できる体制にあるということはわかっておいてほしいですね。



(平出委員)

できれば資料は1～2週間前までに送っていただければ内容を見れるのですが。

(秋葉課長)

議事録にしっかり残して対応させていただきたいと思います。

(吉田座長)

はい、ありがとうございました。ほかのご意見やご質問がないようでしたら、本日の懇談会が終了したいと思います。よろしいでしょうか。

(委員一同)

はい。

(吉田座長)

それでは、第15回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会を終了いたします。皆様、大変ご苦勞様でした。ありがとうございました。